

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発 の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二
氏名	伊藤 壱
学籍番号	1018194
クラス	C
現時点における学習目 標は何ですか。(複数回 答可) プロジェクト学習を通 じて習得したい事柄を 選んでください。	複数のメンバーで行う共同作業; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作 業を効率よく行う方法
上の質問で「その他」 を選んだ人は具体的に 記述してください。	
上記の目標達成のため に、どのようなことを 行う必要があると考え ますか。(自由記述 200 文字以上)	共同作業を上手に行うには、作業についての規約を決める 必要がある。また、お互いの作業の進捗管理やフィードバ ックを定期的に行う必要がある。 技術と知識の応用方法を 学習するにあたって教員から学べることは多い。したがっ て教員とのコミュニケーションをとることは重要である。 特に質問をすることは基本的で重要な要素であると考え る。作業や勉強の途中で思いついた質問はリストにして後 で聞けるようにする必要があるだろう。また、思いついた 質問を自分で解決するよう深掘していけば、本当に質問す べきことが見えてくると思うので、自分である程度調べた のちに質問する必要があると考えられる。 作業を楽しく行 うにはユーモアが必要であると思う。そのためにはグルー プワークで発生する小さな問題を面白く解決するようなア イデア・システムを実現することが必要になるだろう。 作 業を効率よく行うには知識の共有は不可欠だ。自分の学び を省略可もしくは体系化して共有する工夫が必要になるだ ろう。
グループメンバーと協 働することにより、課	できる

題を見出し、解決できる	
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることができる	できる
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	できる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	できる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	できる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	できる

情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	できる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	できる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探することができる	できる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	できる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	できる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	まあまあできる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	できる

社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	まあまあできる
他者を信頼し、共感することができる	できる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	よくできる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	よくできる